

原・秋春連覇 / 山下優勝

木村佳司

原直子（東京女子大学）がインカレミドル女子を制覇。
山下智之（東京農工大学）男子として農工大初めての金メダル獲得だ。

日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドルディスタンス
2005年3月12日 栃木県日光市 今市市

原直子・秋春連覇

「賞状勝ち」・そんな言葉が出てくるくらい、原の走りは堂々としていた。実は最終コントロール時点では奈良女子大学・森澤に2秒の遅れをとっていた。しかし会場へ続く短い登りをダイナミックなフォームで駆け抜け、ここで一気に逆転して優勝した。



フィニッシュへ向かう原直子。
会場へアプローチする坂をダイナミックに登る。
この坂で逆転優勝を決めた。

昨年秋に愛知で行われたインカレロングでは、スピードと技術で他の選手を圧倒した原直子。しかし今回のミドルでは一転して接戦となった。それでも最後は勝ってしまうところが原直子

の強さなのだろう。

インカレミドル女子 2004

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1 原直子 | 0:27:02 | 東京女子 3 |
| 2 森澤寿里 | 0:27:08 | 奈良女子 3 |
| 3 千葉光絵 | 0:28:10 | 宮城学院女子 3 |
| 4 志度裕子 | 0:28:27 | 東京農工 3 |
| 5 菅藤望 | 0:29:41 | 金沢 4 |
| 6 金城千晶 | 0:29:45 | 東京女子 4 |

今年ミドル女子入賞者の顔ぶれを見ると、関東・関西・東北・北信越に分散している。また入賞メンバーの半分はシード選手以外となった。こうした選手が上位を狙えるのも学生の成長の著しさであり、ミドルの面白さなのだろう。

農工パワーだ

インカレミドルの優勝者に輝いたのは山下智之。東京農工大学では初めてのインカレ男子の金メダルを手に入れた。



男子ミドル優勝の山下智之

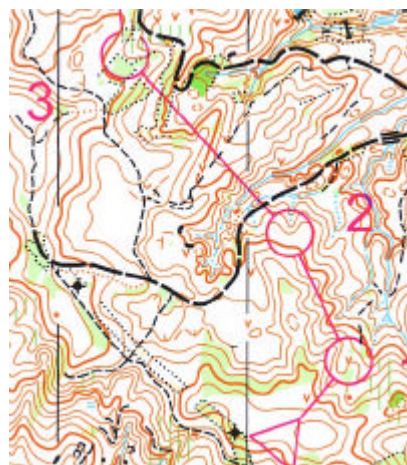
山下の予選通過は、決して楽なものではなかった。これにより予選順位は10位となり予選通過ギリギリだった。予選コースDだった山下のラップを見るとレース中盤でミスをしている。あと6秒遅ければ予選11位となり、今回の金メダルもなかった。わずか6秒で決勝に勝ち残ったのだ。

そして決勝。決して巡航速度は速くないが、ミスなくまとめ、見事金メダ

ルを獲得した。

過去には1984年度に女子ロング（当時のクラシック）で優勝した角田明子以来、東京農工大学の金メダルは20年ぶり。

今年の東京農工大学の活躍には目を見張るものがある。女子ミドルでも志度裕子が4位に入賞、米谷法子も7位と健闘している。女子リレーでは2位を獲得、男子リレーも6位入賞と、農工大学はノリに乗っている。



日光でインカレが開催されたのは5年ぶり。一時期テレイン使用で問題が発生したこともあり今までの4年周期の開催から1年ずれ込んだ。

素晴らしい通行可能度と微地形に富む日光は本当にオリエンテーリング適地である。このテレインを走れる喜びで学生選手権の参加者の顔が生き生きしていたのが印象的だった。

インカレミドル男子 2004

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 山下智之 | 0:25:11 | 東京農工 4 |
| 2 坂本貴史 | 0:25:24 | 筑波 4 |
| 3 川上崇史 | 0:26:03 | 慶應義塾 4 |
| 4 高橋雄哉 | 0:26:16 | 図書館情報 3 |
| 5 牧山知彦 | 0:26:27 | 東京 4 |
| 6 大西康平 | 0:26:32 | 京都 2 |

秋・春連覇を狙った筑波大学の坂本貴史は後半で追いついたが、前半のつまずきを挽回しきれず2位に終わった。

慶応大学の川上崇史は中盤には2位を大きく引き離してトップを走ったが後半のミスによって3位でレースを終えた。

（木村佳司）